

第四次佐久市部落差別撤廃と 人権擁護に関する総合計画

令和6年度 事業実績及び
令和7年度 事業計画

「第四次佐久市部落差別撤廃と 人権擁護に関する総合計画」

【計画の位置付け】

「第二次佐久市総合計画」に定めた「人権尊重社会」の実現に向け
施策を推進するための計画（令和4年度～令和8年度）

【基本目標】

部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、人権が尊重される社会の実現

【主要施策】

- 部落差別をはじめあらゆる差別の解消の推進 ⇒第2章
- 人権同和教育・啓発の推進 ⇒第3章
- 相談体制の充実と人権擁護の確立 ⇒第4章

目次 第四次佐久市部落差別撤廃と人権擁護に関する総合計画

章	大項目	中項目	ページ	担当課
2 部落差別をはじめあらゆる差別の解消の推進	1 同和問題(部落差別)に関する事	(1) 同和問題(部落差別)に関する事	1	人権同和課
		(2) 生活環境の改善	2	道路建設課、下水道課、建築住宅課、高齢者福祉課
		(3) 社会福祉の充実	3	福祉課、健康づくり推進課
		(4) 産業の振興	4	商工振興課、農政課
		(5) 職業の安定	5	人権同和課、商工振興課
		(6) 隣保館活動の推進	6	人権同和課
		(7) 解放子ども会活動の推進	6	人権同和課
		(8) 部落差別事象への対応	7, 8	人権同和課、市民課
	2 子どもの人権に関する事	(1) 子どもの人権に関する事	9, 10	子育て支援課、広報広聴課、学校教育課
	3 障がい者の人権に関する事	(1) 障がい者の人権に関する事	11	福祉課、生活環境課
4 女性の人権に関する事	(1) 女性の人権に関する事	12	人権同和課、福祉課	
5 高齢者の人権に関する事	(1) 高齢者の人権に関する事	13, 14	高齢者福祉課、生涯学習課(中央公民館)、総務課、生活環境課	
6 外国人の人権に関する事	(1) 外国人の人権に関する事	15, 16	人権同和課、観光課、移住交流推進課、生涯学習課、商工振興課	
7 インターネットによる人権侵害に関する事	(1) インターネットによる人権侵害に関する事	17	人権同和課	
8 その他様々な人権問題に関する事	(1) その他様々な人権問題に関する事	17	人権同和課	
3 人権同和教育・啓発の推進	1 就学前における人権同和教育	(1) 就学前における人権同和教育	18	人権同和課、子育て支援課
	2 学校における人権同和教育	(1) 学校における人権同和教育	19	人権同和課、学校教育課
	3 企業における人権同和教育	(1) 企業における人権同和教育	20	人権同和課、商工振興課
	4 地域における人権同和教育	(1) 地域における人権同和教育	21	人権同和課
4 相談体制の充実と人権擁護の確立	1 人権相談体制の充実	(1) 人権相談体制の充実	22	人権同和課
	2 個人情報の保護	(1) 個人情報の保護	22, 23	人権同和課、市民課、総務課
	3 人権侵害の救済と擁護	(1) 人権侵害の救済と擁護	23	人権同和課
	4 佐久市部落差別撤廃と人権擁護に関する総合計画の推進体制の整備	(1) 佐久市部落差別撤廃と人権擁護に関する総合計画の推進体制の整備	23	人権同和課

年度計画

- 令和4年度 インターネットによる人権侵害
- 令和5年度 犯罪被害者等
- 令和6年度 部落差別
- 令和7年度 女性**
- 令和8年度 外国人
- 令和9年度 子ども
- 令和10年度 障害のある人

「女性の人権」

固定的役割分担意識、DV、性犯罪・性暴力、ハラスメント、
出産等を理由とする不利益な取扱いなど

困難な問題を抱える女性への支援に関する法律
(令和6年4月1日施行)

目的・基本理念 =

「女性の福祉」「人権の尊重や擁護」「男女平等」

2章 1 同和問題（部落差別）に関すること

（1）同和問題（部落差別）に関すること

【令和6年度実績】

- 新任・転入教職員研修（小・中・高）（1回、93名、動画配信視聴者含む）
同和問題のほか幅広い人権についての研修「人権読本『あけぼの』活用」
- 教職員人権同和教育研修（小・中・高）（1回、104名、動画配信視聴者含む）
小・中学校での人権同和教育の実践発表、「部落差別」をテーマに研修

【令和7年度計画】

- 新任・転入教職員研修（小・中・高）（1回、会場及び動画配信）
同和問題のほか幅広い人権についての研修
- 教職員人権同和教育研修（小・中・高）（1回、会場及び動画配信）
小・中学校での人権同和教育の実践発表、「デートDV」をテーマに研修
(人権同和課)

教職員人権同和教育研修

■日時 令和7年7月28日(月)午後3時30分～

■会場 市民創錬センター

講師

PROFILE

一般社団法人アウェア 代表理事:山口のり子

- 1)DV加害者プログラム
- 2)DV被害女性プログラム
- 3)デートDV防止プログラム
- 4)ジェンダー平等プロジェクト

2002年に東京で「アウェア」を開設し、DV加害者向け教育プログラムを始める。2003年に「デートDV」という言葉をつくって本を出版し、若者向け防止教育を広める。DVとデートDVについて講演・執筆するとともに、各種プログラム実施者の養成をしている。

ふたつの全国組織(アウェアFネット:アウェア デートDV防止プログラム・ファシリテーター全国ネットワーク、PREP-Japan: DV 加害者更生教育プログラム全国ネットワークCoalition of IPV Perpetrator Re-Education Programs-Japan)の代表を務める。

2023年に東京から長野県佐久市に移住し、トレーラーハウスでの里山暮らしをsimple life in trailer houseのアカウント(youtube)で発信中。長野県と佐久市の男女共同参画審議会委員も務める。

2章 1 同和問題（部落差別）に関すること

（1）同和問題（部落差別）に関すること

【令和6年度実績】

- 人権男女共生フェスティバル 11月17日（日）（参加者291名）
映画上映会「かば」
（部落・在日・沖縄をテーマとした実在の中学教師と生徒との実話を基にした群像劇）
- 望月人権フェスティバル 12月7日（土）（参加者84名）各教室の発表ほか・講演会
- 家族映画会 12月1日（日）（参加者352名）人権標語表彰・「フライ」

【令和7年度計画】

- 人権男女共生フェスティバル 11月15日（土）
「女性の人権」をテーマとした講演会を予定。
（女性の健康課題を人権の視点で捉え、自分らしい幸せな生き方を考える講演会）
- 望月人権フェスティバル 12月6日（土）
- 家族映画会 11月30日（日）（人権同和課）

人権男女共生フェスティバル

■日時 令和7年11月15日(土)午後

■会場 佐久平交流センターホール

講師

PROFILE

高尾 美穂 / MIHO TAKAO

産婦人科医・医学博士・産業医。

女性のための統合ヘルスクリニック「イク表参道」副院長。

働く女性の産業医として内閣府男女共同参画局・人事局などで職員研修を担当。

長年ヨガを愛好し、多くのヨガインストラクターを指導。

YouTube「高尾美穂からのリアルボイス」では、女性のお悩みに答え、

楽に生きられる考え方を配信している。



2章 1 同和問題（部落差別）に関すること

（2）生活環境の改善 ～ （5）職業の安定

- 同和対策事業に対する特別措置法が平成13年度末をもって終了
- 平成14年度から一般対策として事業を推進
⇒市全体の整備が進むことで同和地区も含め生活環境の改善が
図られるという考えのもと、事業を実施

【令和6年度実績】

- 社会資本整備総合交付金事業（9件）（生活環境の改善）
- 作業センター等の健康相談事業（年30回、参加者数 474人）（社会福祉の充実）
- 新規就農者の確保のための就農相談会（年13回）（産業の振興）

【令和7年度計画】

- 生活インフラ改良事業、社会福祉事業、産業振興事業、就労支援事業

（各担当課）

2章 1 同和問題（部落差別）に関すること

（6）隣保館活動の推進

- 目的「地域住民の福祉向上、人権同和教育・啓発活動の住民交流の拠点」
- 中央隣保館、臼田・浅科・望月の各人権文化センターにおける、生活人権相談、啓発活動、教養文化活動を実施
地域交流の拠点となる開かれたコミュニティ施設

【令和6年度実績】

- 地域交流事業（年31回、参加者数357名）
- 休日会館事業（年50回、参加者数527名）

【令和7年度計画】

- 生活人権相談、人権啓発活動、地域交流促進事業（人権同和課）

2章 1 同和問題（部落差別）に関すること

（7）解放子ども会活動の推進

- 望月解放子ども会：同和地区に限らず誰もが参加できる。年間20回程度活動。
- 「いのちの駅伝」：平成9年に子ども会会員だった生徒が高校でいじめにあい自ら命を絶ったことから、「いのち」の大切さを伝え「いじめ」や「差別」をなくす活動を推進（28回目）
※長野西高校望月サテライト校を含む望月地区の児童・生徒が参加

【令和6年度実績】

- 望月解放子ども会（年20回、参加者数441人）
- いのちの駅伝（10月5日、参加者数104人）

【令和7年度計画】

- 望月解放子ども会（年20回程度）
- いのちの駅伝（10月25日（土））

（人権同和課）

2章 1 同和問題（部落差別）に関すること

（8）部落差別事象への対応

<ネット上の差別事象>

- 令和3年度、市内の特定地区が同和地区としてネット上に公開され、小諸、佐久の両市長で法務局へ削除要請の依頼を実施
- 令和4年11月、動画サイトから削除→別の動画サイトへ転載（R5県への報告件数9件）
- 関係機関と連携を図り、県と連携したモニタリング体制を構築（R6県への報告なし）

<戸籍の不正取得への対応>

- 栃木県の行政書士による全国的な戸籍の不正取得事件を受け、令和6年1月より要綱を改正
不正取得が疑われる場合には、国等への資料照会や、取得者へ疎明資料等の請求を行い、
不正取得の蓋然性が極めて高いと市が判断した場合は、該当する本人に通知できる

【令和6年度実績】

- インターネットを用いた差別事象のモニタリング実施（毎週水曜日）
- 戸籍等の本人告知の実績0件

【令和7年度計画】

- 差別事象が発生した場合、経過や背景を分析し、問題解決に努める
- 戸籍等の不正取得が明らかになった場合、その事実を本人に告知する

（人権同和課、市民課）

2章 2 子どもの人権に関すること

【令和6年度実績】

- 佐久市いじめ問題対策連絡協議会（年2回）
- 教育相談員による相談（10,150件）（前年度8,324件 1,826件増 22%↑）

【令和7年度計画】

- 児童虐待、いじめ、不登校などの問題に対し、関係機関と連携した相談・支援体制継続
（学校教育課、子育て支援課）

2章 3 障がい者の人権に関すること

【令和6年度実績】

- 障がい者への正しい知識や理解を深めるため、広報佐久等による啓発（随時）
- 障害者支援施設を訪問し、相談・通報の義務や研修受講の周知（年2回）

【令和7年度計画】

- 広報佐久、ホームページ等による相談窓口や制度の周知
- 障害者施設を運営する市内全法人に対し、障害者虐待防止法の周知、研修受講の推奨等を実施

（福祉課）

2章 4 女性の人権に関すること

【令和6年度実績】

- 佐久平女性大学にて年間講座10回、課外講座3回実施
- 女性相談支援員による配偶者等からの暴力に係る相談支援（延69人）

【令和7年度計画】

- 職場や地域などのあらゆる分野で活躍する女性支援
- 相談窓口の周知、相談支援（人権同和課、福祉課）

2章 5 高齢者の人権に関すること

【令和6年度実績】

- 創錬の森市民大学（年18回、参加者数121人）（人権講座を取り入れる）
- 認知症サポーター養成講座（延806人）
- 市指定の介護事業所に対し、虐待防止措置の実施について周知（1回）

【令和7年度計画】

- 創錬の森市民大学、認知症サポーター養成講座の実施
- 高齢者虐待防止に関する啓発活動（生涯学習課、高齢者福祉課など）

2章 6 外国人の人権に関すること

【令和6年度実績】

- 中学生海外研修R6.7.29～8.5エストニア共和国訪問（研修生8名 引率2名）
R6.7.30～8.6モンゴル国訪問（研修生8名引率2名）
- 国際交流サロン（全11回 延参加者数372人）

【令和7年度計画】

- 外国人に対する正しい理解を深めるための啓発活動・交流推進事業の実施
（移住交流推進課、観光課、生涯学習課、人権同和課など）

2章 7 インターネットによる人権侵害に関すること

【令和6年度実績及び令和7年度計画】

前述の（8）部落差別事象への対応のとおり（人権同和課）

2章 8 様々な人権問題に関すること

【令和6年度実績】

- 犯罪被害者等支援の取組と犯罪被害者等支援条例の周知啓発の実施
（警察等と連携した街頭啓発・ホンデリング活動397冊11月22日実施）
- 長野県パートナーシップ届出制度対応の佐久市の行政サービスの周知啓発

【令和7年度計画】

- 街頭啓発、ホンデリング活動の実施
- 人権同和教育講座の実施
- 長野県パートナーシップ届出制度に対応した行政サービスの周知啓発
（人権同和課）

3章 人権同和教育・啓発の推進

就学前、学校、企業、地域といったライフシーンごとに実績と計画を整理

4章 相談体制の充実と人権擁護の確立

相談体制や人権擁護といった観点で実績と計画を整理